

ガイドブック「共生社会実現のために」内容修正アンケート結果

2p「はじめに」、3p「ステップ1」

「同じ障害でもその人ごとに症状や程度が違う」を「その人ごとに状況は違う」に改める。

5p【主な困りの場面】

「お店の中での移動や欲しい商品の選定が難しいです。」の中で「選定」を「選ぶこと」に改める。

8p【主な特性】

・「まひの程度が軽いため杖や装具歩行が可能な場合や、義足を使用して歩行可能な場合は、日常生活は介助を必要としない人もいます。」の中で「装具歩行が可能な場合」を「杖や装具を使用することで歩行が可能な場合」に改める。

・「長距離の歩行が困難だったり、階段、段差、エスカレーターや人混みでの移動が困難な場合もあります。」の中で「困難だったり」を「困難な場合や」または「困難であったり」に改める。

・「失語症や高次脳機能障害（10ページ参照）がある場合があります。」について、失語症も高次脳機能障害に含みますので、「失語症や記憶障害などの高次脳機能障害」に改める。

10p ■記憶障害【主な配慮】

「手がかりがあると思いだせるので、メモをとってもらい、お互いに確認しましょう」の中で「手がかりがあると思いだせるので」を「キッカケがあると思いだせることがあるため」に改める。

11p ■呼吸機能障害

「酸素ボンベなどの酸素マスク」を「酸素ボンベから吸入していたり」に改める。

13p ■うつ病、躁うつ病

「躁うつ病」を「双極性障害」に改める。

全体的に

- ・言葉遣いが誰を対象としているのか。
- ・困り場面と配所が一致していない。(困っているのをどうしたら良いかがない)
- ・イラストの男女による違いと、その服装等（色使いなど）について、確認しておくひとが必要。

表紙：赤ちゃんを抱いている女性、自衛隊員

6 p：医師が男性

7 p：手話通訳が女性でスカート、駅員が男性

12 p：総合案内は女性で良いか？

15 p：ウェイトレスのミニスカート

回答の提出は3名